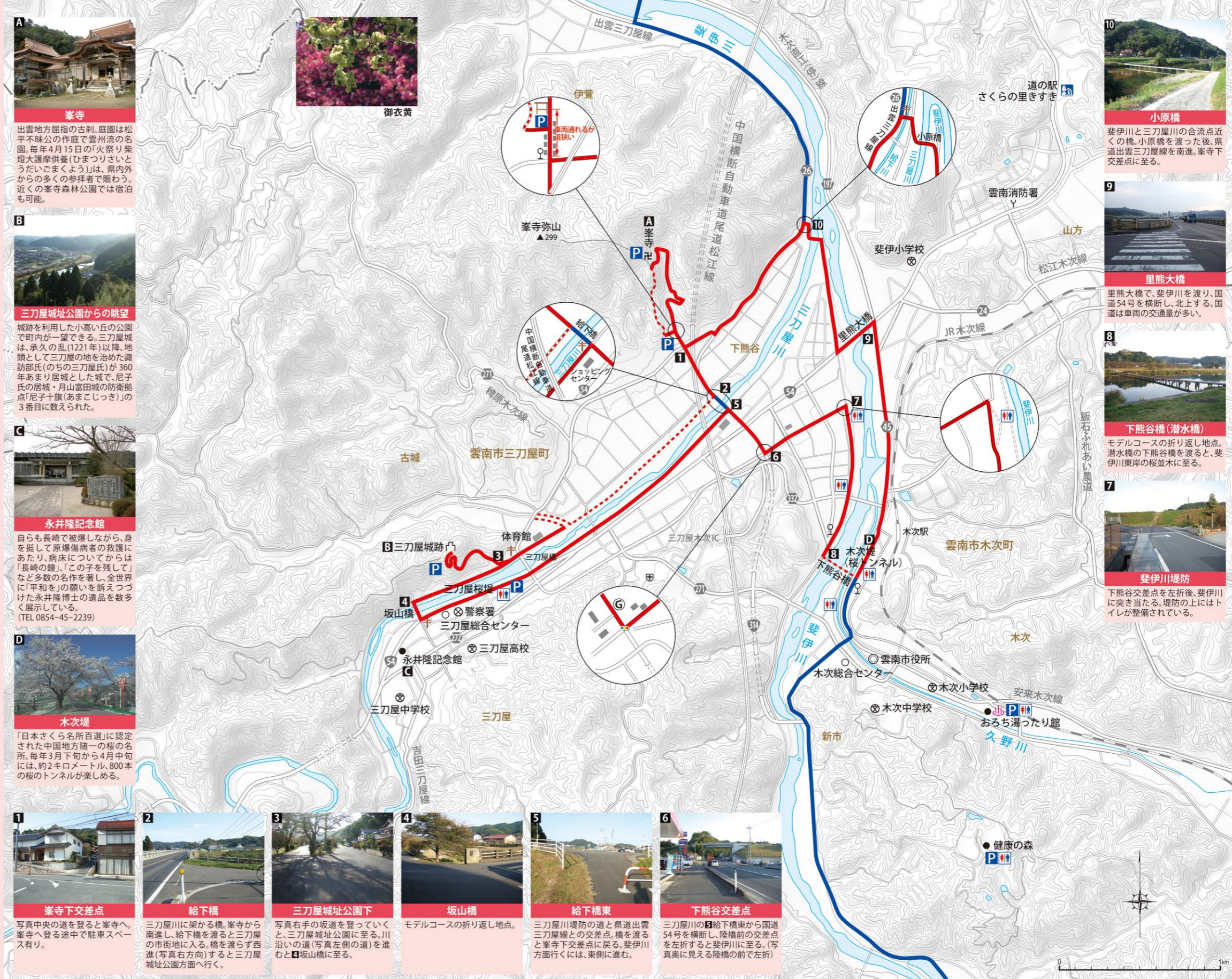


宍道湖・斐川・雲南コース全体図



地図2 木次・三刀屋周遊モデルコース



峯寺
出雲地方屈指の古刹。庭園は松平不昧公の作庭で雲州流の名園。毎年4月15日の「火祭り柴燈大護摩供養(ひまつりさいとうだいごまくよう)」は、県内外からの多くの参拝者で賑わう。近くの峯寺森林公園では宿泊も可能。



三刀屋城址公園からの眺望
城跡を利用した小高い丘の公園で町内が一望できる。三刀屋城は、承久の乱(1221年)以降、地頭として三刀屋の地を治めた諏訪部氏のちの三刀屋氏が360年あまり居城とした城で、尼子氏の居城・月山富田城の防衛拠点「尼子十旗(あまこじき)」の3番目に数えられた。



永井隆記念館
自らも長崎で被爆しながら、身を挺して原爆被害者の救護にあたり、病床についてからは「長崎の鐘」、「この子を残して」など多数の著作を著し、全世界に「平和を」の願いを訴えつけた永井隆博士の遺品を数多く展示している。(TEL 0854-45-2239)



木次堤
「日本さくら名所百選」に認定された中国地方随一の桜の名所。毎年3月下旬から4月中旬には、約2キロメートル、800本の桜のトンネルが楽しめる。



峯寺下交差点
写真中央の道を登ると峯寺へ。峯寺へ登る途中で駐車スペース有り。



給下橋
三刀屋川に架かる橋。峯寺から南進し、給下橋を渡ると三刀屋の市街地に入る。橋を渡らず西進(写真右方向)すると三刀屋城址公園方面へ行く。



三刀屋城址公園下
写真右手の坂道を登っていくと、三刀屋城址公園に至る。川沿いの道(写真左側の道)を進むと坂山橋に至る。



坂山橋
モデルコースの折り返し地点。



給下橋東
三刀屋川堤防の道と県道出雲三刀屋線との交差点。橋を渡ると峯寺下交差点に戻る。斐伊川方面行くには、東側に進む。



下熊谷交差点
三刀屋川のB給下橋東から国道54号を横断し、陸橋前の交差点を左折すると斐伊川に至る。(写真奥に見える陸橋の前で左折)

	中国自然歩道 モデルコース (車道区間)		駐車場		寺院
	中国自然歩道 モデルコース (歩道区間)		トイレ		警察署
	中国自然歩道 (車道区間)		バス停		病院
	中国自然歩道 (歩道区間)		見どころ		道の駅
	その他のトレッキングコース (歩道区間)		城跡		案内板
	温泉		神社		指針

約0.8km・約15分

約0.7km・約10分

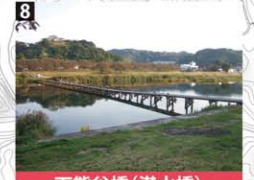
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成20業複、第856号)



小原橋
斐伊川と三刀屋川の合流点近くの橋。小原橋を渡った後、県道出雲三刀屋線を南進、峯寺下交差点に至る。



里熊大橋
里熊大橋で、斐伊川を渡り、国道54号を横断し、北上する。国道は車両の交通量が多い。



下熊谷橋(潜水橋)
モデルコースの折り返し地点。潜水橋の下熊谷橋を渡ると、斐伊川東岸の桜並木に至る。



斐伊川堤防
下熊谷交差点を左折後、斐伊川に突き当たる。堤防の上にはトイレが整備されている。